

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (地域住宅支援)

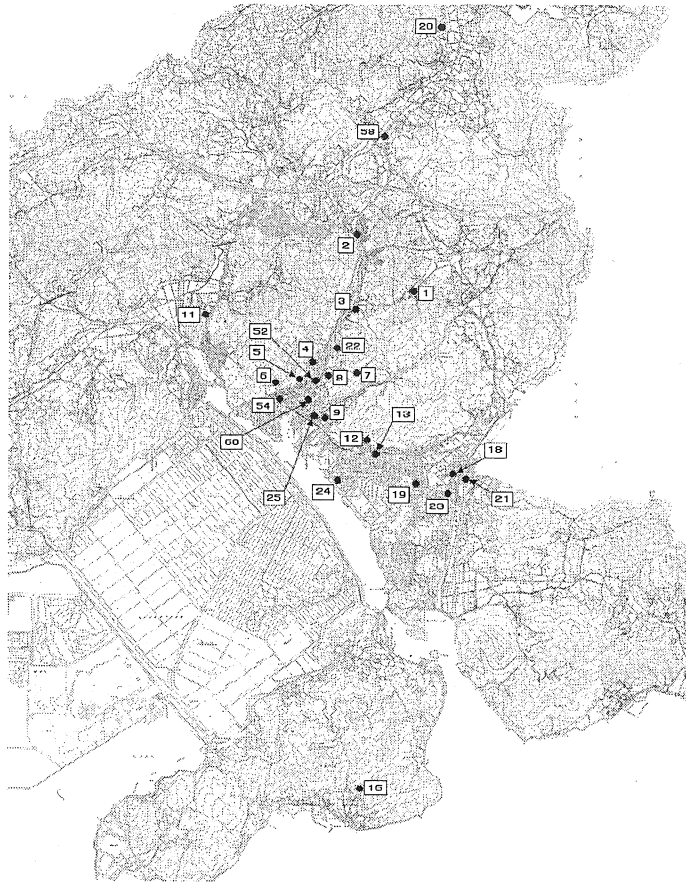
平成30年3月1日

計画の名称		笠岡市地域住宅等整備計画							重点配分対象の該当								
計画の期間		平成30年度～平成34年度 (5年間)			交付対象		笠岡市										
計画の目標 ・「活力ある福祉都市かさおか」を目指し、若者や子どもが夢と希望を持てるまち、お年寄りや体の不自由な方々が安心して暮らせるまちを実現するため、老朽化が著しい市営住宅の外壁を改修するなどの施策を実施し長寿命化を図る。																	
計画の成果目標 (定量的指標) ・市営住宅の長寿命化対策の推進 (長寿命化計画の達成率の増加)																	
定量的指標の定義及び算定式																	
						定量的指標の現況値及び目標値			備考								
						当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H34末)	※中間目標は任意								
建設後30年以上経過した中層耐火構造及び簡易耐火構造2階建市営住宅のうち、長寿命化のための改善事業を実施したものの割合 (改善事業実施済戸数) / (対象管理戸数) H30: 112戸/419戸 H34: 278戸/583戸						26.7%	-	47.7%									
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		984百万円	A	970百万円	B	-	C	14百万円	D	-	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	1.4%			
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H30	H31	H32	H33	H34				
1-A1-1	住宅	一般	笠岡市	直接	笠岡市	地域住宅計画に基づく事業 (公営住宅等整備事業 (建替))	市営住宅の建替設計・除却整地 (120戸)	笠岡市						733	0.9225	策定済	
1-A1-2	住宅	一般	笠岡市	直接	笠岡市	地域住宅計画に基づく事業 (公営住宅等ストック総合改善事業)	市営住宅の外壁改修等 (166戸)	笠岡市						237		策定済	
合計													970				
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H30	H31	H32	H33	H34				
合計													-				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H30	H31	H32	H33	H34				
1-C1	住宅	一般	笠岡市	直接	笠岡市	エレベーターリニューアル整備事業	※野ビル (その他住居) エレベーターリニューアル整備事業 (4戸)	笠岡市						14			
合計													14				
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			
1-C1	エレベーターリニューアル整備事業により、安全性・耐震性が高まり、平成28年度に基幹事業としてエレベーターリニューアル工事を実施した中央ビル双方の住民が安心して行き来できるようになる。さらに、周辺住民等が利用する際にも安全かつ安心して利用できるようになるなど、利用者の生活の質の向上が期待できる。																
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H30	H31	H32	H33	H34				
合計													-				

(参考図面) 地域住宅支援

計画の名称	笠岡市地域住宅等整備計画		
計画の期間	平成30年度～平成34年度(5年間)	交付対象	笠岡市

1 市営住宅団地所在地



市営住宅団地一覧表

番号	団地名	備考
1	園井	1-A1-1 公営住宅等整備事業(建替)
2	追分	
3	田頭	
4	八幡平東	
5	八幡平西	
6	西本町	
7	殿川北	
8	昭和寮	
9	浜田	
11	金浦	
12	伏越	
13	大磯	
16	神島外浦	
18	富岡	1-A1-1 公営住宅等整備事業(建替)
19	一番町	1-A1-2 公営住宅等ストック総合改善事業
20	吉田	
21	小黒崎	1-A1-2 公営住宅等ストック総合改善事業
22	大久保	
23	樋守	
24	十一番町	
25	本町ビル	1-C1 エレベーターリニューアル整備事業
52	八幡平中	
54	西本町川西	
58	小平井	
60	中央ビル	

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(地域住宅計画に基づく事業等タイプ)

計画の名称: 笠岡市地域住宅等整備計画

事業主体名: 笠岡市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
★①計画の目標が基本方針と適合している。	○
★②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
★③地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
★④関連する各種計画(住生活基本計画等)との整合性が確保されている。	○
⑤緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 (該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新      イ 安全面、衛生面等の居住環境の改善 ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保      エ 既存住宅ストックの有効活用 オ まちなか居住の推進      カ 地方定住の推進 キ その他(地域の実情に応じた緊急性の高い課題を記入)	○
⑥数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	
II. 計画の効果・効率性	
★①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
★②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
④事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。	
⑤事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	
⑥事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	
⑦地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	
⑧地域再生計画に地域住宅交付金の活用についての記載をしており、内閣総理大臣の評価を受けている。 (評価結果として該当するものに○) ア 80点以上      イ 60~79点      ウ 60点未満	
III. 計画の実現可能性	
★①事業熟度が十分である。	○
★②計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
★③地域住宅計画を公表することとしている。	○
④地域住宅協議会等、関係地方公共団体等の意見調整の場が設けられている。	
⑤計画内容に関し、住民に対する事前説明が行われている。	
⑥計画期間中の計画管理(モニタリング)体制が適切である。	

(★は必須事項)